



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 リンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7966 URL <https://www.lintec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 柴野 洋一 (TEL) 03-5248-7713
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	144,422	14.9	9,776	△16.6	12,127	△1.0	8,791	△0.3
2022年3月期第2四半期	125,640	12.7	11,729	85.4	12,255	97.5	8,815	111.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 23,020百万円(69.1%) 2022年3月期第2四半期 13,615百万円(438.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	127.74	127.66
2022年3月期第2四半期	121.91	121.83

(注) 2022年3月期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	317,668	225,872	70.8
2022年3月期	302,865	209,758	69.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 225,053百万円 2022年3月期 209,212百万円

(注) 2023年3月期第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	39.00	—	49.00	88.00
2023年3月期	—	44.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	44.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	292,000	13.7	15,500	△28.2	18,500	△18.5	13,500	△18.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	76,688,740株	2022年3月期	76,659,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,329,603株	2022年3月期	6,833,643株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	68,822,459株	2022年3月期2Q	72,311,896株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2022年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ (<https://www.lintec.co.jp>) に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は米国子会社での買収効果や円安影響も加わり前年同期比14.9%増の144,422百万円、営業利益はパルプを含む原燃料価格上昇の影響を大きく受け前年同期比16.6%減の9,776百万円、経常利益は円安に伴う為替差益もあり前年同期比1.0%減の12,127百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比0.3%減の8,791百万円となりました。

なお、前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に係る数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(印刷材・産業工材関連)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	64,239	83,481	19,242	30.0
印刷・情報材事業部門	48,649	67,436	18,786	38.6
産業工材事業部門	15,589	16,045	455	2.9
営業利益	1,150	1,553	402	35.0

当セグメントの売上高は83,481百万円（前年同期比30.0%増）、営業利益は諸原材料価格や物流コストが上昇したものの、米国子会社の収益が大幅に改善したこともあり、1,553百万円（同35.0%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<印刷・情報材事業部門>

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品や飲料キャンペーン用などの需要は低調であったものの、各種環境配慮製品の新規採用が進んだほか、宅配・物流関連の需要が増加したことにより堅調に推移しました。海外では米国での買収効果もあり大きく伸ばしました。この結果、当事業部門の売上高は67,436百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

<産業工材事業部門>

国内では自動車の減産影響を受け自動車用粘着製品の需要が低調に推移しましたが、海外ではアセアン地域を中心にウインドーフィルムや自動車用粘着製品などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は16,045百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

(電子・光学関連)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	44,680	44,192	△487	△1.1
アドバンストマテリアルズ事業部門	32,908	33,553	644	2.0
オプティカル材事業部門	11,771	10,639	△1,132	△9.6
営業利益	9,539	8,747	△792	△8.3

当セグメントの売上高は44,192百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は8,747百万円（同8.3%減）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

<アドバンストマテリアルズ事業部門>

積層セラミックコンデンサ関連テープはスマートフォンなどの需要低迷により低調に推移しましたが、半導体関連粘着テープおよび関連装置は堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は33,553百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

<オプティカル材事業部門>

車載用タッチパネル製品が伸長したものの、光学ディスプレイ関連粘着製品は大型テレビやスマートフォンなどの需要低迷の影響を大きく受け低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は10,639百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

(洋紙・加工材関連)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	16,720	16,747	26	0.2
洋紙事業部門	7,551	7,859	307	4.1
加工材事業部門	9,169	8,888	△280	△3.1
営業利益又は営業損失(△)	1,008	△554	△1,563	—

当セグメントの売上高は16,747百万円（前年同期比0.2%増）、利益面においてはパルプを中心とした原燃料価格上昇などの影響を大きく受け、554百万円（同一%）の営業損失となりました。

当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

<洋紙事業部門>

カラー封筒用紙は前年同期並みとなったほか、耐油耐水紙がテイクアウト需要の増加などにより堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は7,859百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

<加工材事業部門>

炭素繊維複合材料用工程紙はスポーツ・レジャー用が堅調に推移しましたが、電子材料用剥離紙、光学関連製品用剥離フィルムは需要低迷の影響を受け低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は8,888百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は317,668百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,803百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「現金及び預金」の減少 7,226百万円
- ・「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加 3,780百万円
- ・「棚卸資産」の増加 11,922百万円
- ・「流動資産その他」の減少 3,633百万円
- ・「有形固定資産」の増加 8,372百万円
- ・「のれん」の増加 1,197百万円

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は91,796百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,311百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「未払法人税等」の減少 △1,155百万円

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は225,872百万円となり、前連結会計年度末に比べて16,114百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加 5,370百万円
- ・「自己株式」の減少 △3,544百万円
- ・「為替換算調整勘定」の増加 13,912百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、第3四半期以降も原燃料価格や物流費が上昇するとみており、引き続き、徹底したコスト削減や販売価格への転嫁に取り組んでまいります。上昇分を吸収するに至らず、加えて電子・光学関連製品において需要低迷が予想されます。

このような状況を勘案し、2022年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2023年3月期通期連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	285,000	21,500	21,500	15,500
今回修正予想 (B)	292,000	15,500	18,500	13,500
増減額 (B - A)	7,000	△6,000	△3,000	△2,000
増減率 (%)	2.5	△27.9	△14.0	△12.9
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	256,836	21,584	22,698	16,641

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,416	48,189
受取手形、売掛金及び契約資産	62,545	66,325
棚卸資産	52,709	64,632
その他	11,677	8,043
貸倒引当金	△123	△148
流動資産合計	182,224	187,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,592	39,682
機械装置及び運搬具（純額）	30,950	32,030
土地	11,855	12,159
建設仮勘定	4,129	8,613
その他（純額）	4,992	6,409
有形固定資産合計	90,521	98,894
無形固定資産		
のれん	16,647	17,845
その他	1,974	2,316
無形固定資産合計	18,622	20,162
投資その他の資産		
その他	11,589	11,660
貸倒引当金	△93	△90
投資その他の資産合計	11,496	11,569
固定資産合計	120,640	130,625
資産合計	302,865	317,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,309	43,480
短期借入金	1,292	1,045
1年内返済予定の長期借入金	1,346	1,665
未払法人税等	4,210	3,054
賞与引当金	2,640	2,576
役員賞与引当金	72	32
その他	18,510	18,621
流動負債合計	72,382	70,475
固定負債		
長期借入金	1,468	868
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	15,937	15,978
その他	3,207	4,362
固定負債合計	20,724	21,320
負債合計	93,107	91,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,355
資本剰余金	26,943	26,709
利益剰余金	166,242	171,612
自己株式	△14,118	△17,662
株主資本合計	202,388	204,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301	344
為替換算調整勘定	8,936	22,848
退職給付に係る調整累計額	△2,414	△2,155
その他の包括利益累計額合計	6,823	21,037
新株予約権	93	83
非支配株主持分	451	735
純資産合計	209,758	225,872
負債純資産合計	302,865	317,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	125,640	144,422
売上原価	92,493	110,613
売上総利益	33,147	33,809
販売費及び一般管理費	21,418	24,032
営業利益	11,729	9,776
営業外収益		
受取利息	67	101
受取配当金	252	93
固定資産売却益	0	50
為替差益	224	2,099
受取保険金	3	89
その他	191	212
営業外収益合計	739	2,647
営業外費用		
支払利息	63	52
固定資産売却損	11	17
固定資産除却損	107	118
支払補償費	7	18
その他	23	90
営業外費用合計	212	296
経常利益	12,255	12,127
特別利益		
投資有価証券売却益	13	-
負ののれん発生益	277	-
特別利益合計	290	-
特別損失		
固定資産売却損	-	12
特別損失合計	-	12
税金等調整前四半期純利益	12,546	12,114
法人税、住民税及び事業税	3,884	3,351
法人税等調整額	△162	△27
法人税等合計	3,721	3,324
四半期純利益	8,824	8,790
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,815	8,791

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,824	8,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	42
為替換算調整勘定	4,571	13,926
退職給付に係る調整額	254	260
その他の包括利益合計	4,790	14,230
四半期包括利益	13,615	23,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,601	23,005
非支配株主に係る四半期包括利益	14	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	64,239	44,680	16,720	125,640	—	125,640
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	19	6,391	6,446	△6,446	—
計	64,275	44,699	23,112	132,087	△6,446	125,640
セグメント利益	1,150	9,539	1,008	11,698	30	11,729

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,481	44,192	16,747	144,422	—	144,422
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	15	6,813	6,864	△6,864	—
計	83,516	44,208	23,561	151,286	△6,864	144,422
セグメント利益又は損失(△)	1,553	8,747	△554	9,745	30	9,776

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。